

## 「美肌」をつくる魔女スープ

森 由香子 著



「魔女スープ」とは何か。作り方は簡単、栄養バランスのよくとれた素材による様々なスープのことで、それが若々しく美しい肌を守るのに効果満点だという。

肌荒れや、吹き出物、シミ、ソバカスなど、症状に合わせたスープメニューが紹介されていて、スープのレシピ集になっている。それぞれに、素材の成分や効果や、スープをおいしくするためのコツなども記されている。

著者は東京農大農学部栄養学科卒、管理栄養士、日本抗加齢医学会抗加齢指導士。  
(青春出版社 定価1,365円)

## ハーブきく

近藤勝彦、近藤由佳、本橋 強、  
梅室英夫、山田光一 監修 近藤勝彦 編



顕花植物のキク科には2万4千～3万種あり、観賞用、食用など多様性に富む。東京農大遺伝育種学研究室の近藤勝彦教授らの研究グループは、キク研究で

国際的レベルの成果を蓄積してきた。

本書は特に「ハーブきく」94種について、その珍しい写真とともに、薬用、美容、酒の香り付けなど様々な効用、自生地、特徴などを紹介している。新たな利用法の開拓などに、大いに参考になるだろう。

(東京農大出版会 定価3,360円)

## IT活用で変わる農業普及

福田浩一 著



近年、協同農業普及事業は国や自治体の財政難で、普及指導員数の大幅削減を招き、より一層の効率的かつ効果的な活動が求められている。

その方策として、20年近く前から情報技術 (IT) の活用が図られているが、本書は、それが十分な成果を上げていないとして、IT

利用の課題を明らかにしている。その上で、全国規模の普及情報ネットワークシステム構築を提案している。

著者は東京農大農学部農業経済学科卒、全国農業改良普及支援協会情報部長。  
(東京農大出版会 定価1,680円)

## 子供の科学★サイエンスブック 電子顕微鏡で見る超ミクロの世界 ものの形・生き物のしくみがよくわかる

矢口行雄 著



小学校などにあるような光学顕微鏡は1,000倍が限界だが、電子顕微鏡なら100万倍の拡大が可能だという。

東京農大地域環境科学部教授の著者は、樹木病理学、菌類学を専門とし、大学の電子顕微鏡室室長でもある。

本書には、例えばアリの顔や蚊の針、チョウの眼、蜂のまつげなど、不思議な写真が満載されている。また植物や菌類、さらに、時計やナイフなど身近な物を対象に、その「超ミクロの世界」に案内してくれる。大人でも十分に楽しめる一冊である。

(誠文堂新光社 定価2,310円)